

## 患者さんへ

### 「橈骨頭粉碎骨折に対する on-table technique<sup>※</sup>の治療成績」

※関節面骨片を手術台の上で整復固定し、体内に戻して骨幹部と固定する手技

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることができるときには、研究の目的を含む研究の実施についての情報を提示して適切な同意を得ることが必要とされています。同意いただける場合は、その旨を担当者にお伝えください。また、適切な同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2013年4月から2021年12月までに当院で橈骨頭粉碎骨折の手術と骨移植を受けられた65歳以下の方
2 研究目的・方法	骨接合が技術的に困難な橈骨頭粉碎骨折に対しては、関節面骨片を手術台の上で整復固定し、体内に戻して骨幹部と固定する方法(on-table technique)が有用であると報告されており、当院では、肘関節の活動年齢が20年以上見込まれる患者さんを対象に、この治療を行っています。 この研究は、当院の治療成績について検証し、本治療の有用性の確認を行います。 研究の期間:施設院長許可(2024年6月予定)後~2024年10月
3 情報の利用拒否	同意いただいた後であっても、いつでも撤回できます。情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、受傷機序、喫煙歴、採骨部位、骨片数、治療経過、治療成績(CT画像、単純レントゲン像含む)、合併症 等
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。  研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 長谷川真之 湘南鎌倉総合病院 外傷整形外科 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号:0467-46-1717

2024年4月15日作成(第1.0版)